

令和7年度



第3回 学校運営委員会

令和8年1月20日（火）、大麻中学校を会場に、大麻中学校区の4校（大麻小学校・大麻西小学校・文京台小学校・大麻中学校）による合同学校運営委員会が開催されました。今回の委員会は二部構成で行われ、前半は本校独自の学校運営委員会、後半は初開催となる4校合同での情報交換会という形で実施いたしました。

【第1部】 大麻西小学校 学校運営委員会

本校の教育活動の成果と課題について、委員の皆様と共有しました。学校経営の方針について校長より、新学期開始後の児童の様子を報告するとともに、次年度の重点目標として「自分を高める意欲と学びを深める力」を掲げる方針を示しました。現状に満足せず、さらなる高みを目指す意欲を育むための働きかけを強化していく考えを述べました。

学校評価の結果報告について教頭より、児童・保護者・教職員を対象としたアンケート結果を報告しました。全体的に高い評価をいただいている一方で、「主体的に学ぶ姿」や「あいさつ習慣の定着」などが今後の課題として挙げされました。

【第2部】4校合同学校運営委員会

後半は、図書室へ場所を移し、中学校区の4校が一堂に会しました。各校からの活動報告を大麻小、大麻西小、文京台小、大麻中の順に、これまでの活動内容について報告を行いました。

次年度の合同開催は、より良い連携の形を検討しながら実施を予定しています。今回の委員会でいただいた貴重なご意見を、今後の学校運営および次年度の計画に反映させてまいります。



【委員の皆さんからいただいた意見の一部を紹介】

○子どもたちの成長と教職員への評価

「先生方のきめ細かな配慮により、子どもたちの確かな成長を実感している」「先生方の努力はもっと高く評価されるべきだ」といった心強いお声をいただきました。

○「あいさつ」から見える社会性

「相手や状況を見て判断して挨拶を使い分けてるのは、社会性を獲得している証拠ではないか」という、子どもの成長をポジティブに捉える視点をご提示いただきました。

○教職員の業務改善について

「子どもと向き合う時間を確保するため、専門知識が必要な業務（デジタル端末管理等）には外部専門家を配置するなど、一般企業のような効率的な運営を検討すべき時期ではないか」との提言をいただきまし」